

第7回 SK 胃瘻セミナー総括

今回の胃瘻セミナーは、2009年6月5日金曜日12時からいつもの通り、静岡県立こども病院大会議室で行いました。

最近のセミナーでは、患者さんから、『学校の先生や施設の人が多く、患者の出席が少ないのではないか』との話がありましたが、今回は、患者さんの出席が増えておりました。

しかし、相変わらず、自分が主治医をしている患者さんの中にも、その週になってはじめて（セミナーの開催を）知ったなど、連絡の難しさを感じます。

案内希望の方は、静岡県立こども病院地域医療連携室か、神経科 渡辺誠司あるいは、kodomo_irou@yahoo.co.jp まで連絡いただき、メールの登録をしていただくと良いと思います。

さて、前回のセミナーの復習ですが、非常に盛りだくさんでした。胃瘻の特徴、食べるものから、便秘、下痢の話、食物繊維から、栄養価、微量元素まで多岐にわたっておりダイジェストを造るのに苦労しました。

今回の話題の『ダンピング症候群』についても、患者さん、保護者の方が常日頃思っている体の不調の原因とも考えられ、みなさんの真剣なまなざしが痛いくらいでした。

まだまだ、十分に解明されているわけではなく、これからの調査、治療の改良が望めます。ダンピング症候群は、早期と後期があり、どちらも胃から食べ物が急速に流れ出して起こる症状です。

食後、冷や汗をかいたり、心拍が増えたり、オエオエしたり、こういった症状を十分把握して治療法を考えていきたいです。外科からも、具体的に術後の胃通過時間を示していただき、速く流れすぎている可能性の指摘がありました。

私の方からは、胃瘻を造ることによる栄養状態の改善など呈示しましたが、よりよい治療法をお話ししたいです。

その為にも、ダンピング症候群の実態把握をしたいと思っています。別のページにつけてある、調査の PDF ファイルを見ていただき、お問い合わせ下さい。

時間ごとの、心拍数(脈拍数)、冷や汗、嘔気の有無のみでも結構です。

2009.6.8

静岡県立こども病院 神経科

渡辺誠司 kodomo_irou@yahoo.co.jp